

「京都文教大学海外出張助成金」交付による海外出張報告書

2010年6月7日提出

申請年度	2010年度（平成22年度）		
所属	臨床心理学科	報告者・職氏名	講師 細越寛樹
海外出張内容 (種別に)	目的 Continuity and Change: Gestalt Therapy Now AAGT 2010 Biennial Conference への参加 訪問国・地域 アメリカ合衆国(フィラデルフィア) 助成額 150,000 円		・ <input type="checkbox"/> 学 会 (発表有/ <input type="checkbox"/> 無) ・ 調 査 ・ 会 議 ・ セミナー
期 間	2010年5月30日(日) ~ 2010年6月5日(土)		5泊 7日
上記出張期間 の研究・調査 等活動経過	5月30日・・大阪空港付近に前泊(翌早朝便利用のため) 5月31日・・大阪空港発 - フィラデルフィア着 6月1日・・Pre-Conference Workshop "Gestalt Therapy Group Process Marathon" 6月2日・・Pre-Conference Workshop "Exploring Nonverbal Process" 6月3日・・AAGT's Biennial Conference 6月4日・・フィラデルフィア発 6月5日・・大阪空港着		
研究・調査 発表等概要	世界的に著名なゲシュタルト療法家である Bud Feder 氏および Jack Aylward 氏によるゲシュタルト療法に基づいたグループセラピーに関するワークショップ、Ruella Frank 氏による非言語的なプロセスを扱うワークショップ、および隔年で行われるゲシュタルト療法の国際会議において関連のある発表を聴講し、ゲシュタルト療法に基づいた心理臨床家のグループトレーニング法を体験的に理解すると共に、その方法論について意見交換をする。		
研究・調査 発表等々の 成果の概要	Bud Feder 氏らによるワークショップおよび国際会議での発表に参加し、ゲシュタルトグループを効果的に進行する上で重要となるポイントが明白になった。 Ruella Frank 氏によるワークショップにより、非言語的情報に着目したボディワークの展開法について示唆が得られた。 各国の実践家・研究者との交流により、我が国の現状と今後の課題が示唆された。 また、今後も情報交換を行える関係性を築くことに成功した。		
研究・調査 等の成果 発表予定	シンポジウム・公開講演会等の開催： 日本心理臨床学会第29回秋季大会(自主シンポジウム)，2010年9月4日，宮城 その他：日本人間性心理学会第29回大会(口頭発表)，2010年9月25日，熊本		